

子ども夏休み“夢プロジェクト”「がんばっぺ！B」活動内容

7月31日(日) 第1日目	活動内容
	<p>福島県・郡山駅2階コンコースで7家族20人が合流し、オリエンテーション。「福島子どもたちとつながる宇部の会」から木下代表夫妻が引率者としてお迎えに行きました。10時33分発やまびこ242号で、まずは東京へ。</p>
	<p>17時37分、のぞみ37号で新山口駅に到着。満顔の笑みは木下さん、お母さんと子どもたちは少し疲れた様子ですが、宇部までもう少しですよ！</p>
	<p>手づくりの歓迎ボードを持ってお出迎え！このボードを見たとき、お母さんたちはとても嬉しかったそうです。滞在中も、あちこちで活躍しました。</p>
	<p>初日は、ココランド宿泊。午後7時から、ココランドで歓迎会＆顔合わせ会があり、ボランティア24名参加のにぎやかな交流会になりました。</p>
	<p>ココランドさんから、お土産のサプライズがあり、嬉しそうにプレゼントを受け取る子どもたちです。交流会終了後は入浴タイム。男の子はつき添いボランティアと入浴し、ゆっくりと旅の疲れをとりました。</p>

子ども夏休み“夢プロジェクト”「がんばっぺ！B」活動内容

8月1日(月) 第2日目	活動内容
	<p>午前中はココランドのプールで、つき添いボランティア（自閉症児1名につき2名以上）と一緒に遊びました。子どもたちにとっては初対面の学生ボランティアのお兄さん、お姉さんと仲良くなれたようです。</p>
	<p>小学校高学年の子どもは、ウォータースライダーにも果敢に挑戦していました。いっぱい泳いだので昼食が待ち遠しく、食事班がつくった40食分のおにぎり弁当は、あっという間に皆のお腹の中へ。</p>
	<p>午後からは、これからの宿泊先、アクティレッジおのへ移動。 野外で、ソーメン流しとバーベキューの夕食。 小野の美しい自然の中で食べる食事は、また格別です。 勤務のため午前中は参加できなかったボランティアさんも駆けつけ、楽しい夕食になりました。</p>

子ども夏休み“夢プロジェクト”「がんばっぺ！B」活動内容



夕食後は、お楽しみ会。

万倉黒五郎に住んでいる村川博司さんとその仲間によるアフリカ太鼓の演奏。

音の苦手な自閉症児さんが1人いるのですが、その他の子どもたちは最後まで演奏を楽しみました。



演奏終了後は、子どもたちも楽器に触らせてもらい、楽しそうに太鼓をたたく子どもや、風鈴を鳴らす子どもの姿も見られ、みんな興味津々。村川さんの「応援するよ！」の言葉に励まされました。

この様子は、8月3日付読売新聞(山口版)に掲載されました。

子ども夏休み“夢プロジェクト”「がんばっぺ！B」活動内容

8月2日(火) 第3日目	活 動 内 容
	<p>午前中は、こぐま保育園・山の園舎(山陽小野田市有帆)へ。 自然いっぱいの園舎で、福島では外遊びができない子どもたちも、のびのびと遊ぶことができました。</p>
	<p>小学校1年生のSちゃんとNちゃんは、同じ学校の同級生。 ボランティアのお姉さんと、絵を使ったゲームで楽しく遊びました。 こぐま保育園さんにつくっていただいた昼食後、楠こもれびの郷へ移動。ゆっくりと温泉を楽しみました。</p>
	<p>万倉ふれあいセンター和室での夕食風景です。 この日の食事班は60食分を用意したのですが、主菜の豚のしょうが焼きが焼きが足りなくなるほど皆さん食欲旺盛でした。子どもたちにはフルーツヨーグルトが大人気。</p>

子ども夏休み“夢プロジェクト”「がんばっぺ！B」活動内容



夜は、万倉ふれあいセンターからアクトビレッジに移動。
昼間、閉め切っていた体育館が暑いので、きょうのお楽しみ会は、急遽、外ですることになりました。
ママさん劇団「ぴよぴよ隊」によるパネルシアターで大いに盛り上がり、大人も子どもも楽しそうです。



パネルシアターの後は、「子どもたちにも活躍の場を」ということで、かき氷屋さんをすることになりました。
子どもたちで考えた屋号は「アイスビレッジ」。
志願した子ども店長2人は、大活躍でした。

子ども夏休み“夢プロジェクト”「がんばっぺ！B」活動内容

8月3日(水) 第4日目	活動内容
	<p>きょうは、子どもたちはボランティアと一緒に、川上小学校で開催される障がい児を対象とした夏休み学童保育「おひさまクラブ」に特別参加。 高台にあるプールがとても気持ちよかったです。</p>
	<p>午後からは、同じく、おひさまクラブでニュースポーツ「ドッジビー」の指導をしていただきました。 この日のお母さんたちは子どもたちと別行動。阿知須の村田さんのご好意でマッサージを受けたり、フジグラン宇部で何十年ぶりの映画や喫茶店でのコーヒーを楽しみました。</p>
	<p>夕食には、小野の子どもたちもやってきて、夜の交流会が始まりました。 きょうのメニューの1つは、瓦そば。 福島の人たちは初めて食べるものですが、皆さん「おいしい」と完食！</p>
	<p>もう1つの夕食メニューはピザ。 アクトビレッジおの備え付けの石釜で、36枚焼き上げ、もちろん完食！</p>

子ども夏休み“夢プロジェクト”「がんばっぺ！B」活動内容



きょうの夜のお楽しみ会は、盛りだくさん。

最初は、阿野正義さんによるマジックショー。ミスターマリック並みの手品にみんな大喜び。自閉症児のK君も、得意の手品をご披露しました。

マジックショーの後は、広島友好さんによる読み聞かせ。

マジックで盛り上がった後なので、やりにくそうでしたが、みんな、すぐにお話に集中。友好さんの熱演に大爆笑の連続でした。



お楽しみ会の最後は花火大会。

小野の子どもたちと一緒に楽しみました。

もちろん、子ども店長による「アイスビレッジ」も開店、大人気。

お楽しみ3連発で、きょうの就寝時間は遅くなってしまいました。(お母さん、ごめんなさい！)

子ども夏休み“夢プロジェクト”「がんばっぺ！B」活動内容

8月4日(木) 第5日目	活 動 内 容
	<p>午前中は、こぐま山の保育園で過ごしました。福島では、放射能の心配で外遊びを控えている子どもたちも、ここなら安心して遊べます。(羊もいるのだ！)</p> <p>そのせいか、宇部に来た時には白かった子どもたちの肌も、帰る時には、こんがりと日焼けしていました。</p>
	<p>お昼は、こぐま保育園さん手づくりの食事。</p> <p>いつもどおり、自然いっぱいの園舎で、皆さん、おいしくいただきました。</p>
	<p>夜は「アクトビレッジおの」ハーブ園を管理している「サウスバーム」さんによる「ハーブティーとハーブ石鹸づくり」を体験。</p> <p>子どもたちが作ったマリーゴールド入り石鹸は、いろいろな形をしていますが、お母さんにプレゼントするため一生懸命つくりました。(美肌にいいそうです)</p> <p>サウスバームの方たちには、翌日から朝食づくりを手伝っていただき、とても助かりました。ありがとうございました。</p>
	<p>スタッフ会議の様子です。</p> <p>毎晩、このようにして注意事項と翌日のスケジュールを確認後、お母さんとの語らい・打ち合わせを行いました。</p> <p>お母さんたちは、宇部フロンティア大学の酒木・西村両教授のカウンセリング、お母さん同士の語り合いで、心が軽くなっていったようです。</p>

子ども夏休み“夢プロジェクト”「がんばっぺ！B」活動内容

8月5日(金) 第6日目	活 動 内 容
	<p>きょうは、ボランティアさんと一緒に山口県内小旅行。 まずは、日本一の鍾乳洞を誇る秋芳洞へ。</p>
	<p>涼しい秋芳洞で一息ついた後は、壮大な秋吉台で集合写真。</p>
	<p>その後は、門司レトロを散策。 ボランティアのお姉さんと一緒に楽しそうなS君。</p>
	<p>最後は、関門海峡を一望できる火の山公園へ。遠くは 玄界灘、周防灘等、瀬戸内海から日本海まで見ることが できる絶景スポットです。 この日の夜はフリータイムで、皆さん、ゆっくり過ごしま した。</p>

子ども夏休み“夢プロジェクト”「がんばっぺ！B」活動内容

8月6日(土) 第7日目	活動内容
	<p>宇部滞在中、残すところ、あと2日。 SLが大好きなS君とK君のために、SLがとてもよく見える秘密(?)の場所へ。SLの運転手さんも汽笛を鳴らして大サービス。幸先のよい1日の始まりでした。 その後は、夜の交流会まで小野田サンパークでショッピング。</p>
	<p>宇部滞在中、最後の夜は、福祉会館で「また会おう会」(送別会)を開催。 久保田市長も出席され、お母さんたちとじっくり懇談。 女性市長ならではの暖かい言葉に、皆さん感激された様子です。</p>
	<p>忙しい中、駆けつけてくださった山崎スズカさんによる「ちよるるダンス」の指導。ダンスが大好きな子どもがいて、楽しみにしていた時間でした。 ちよるるダンスで山口国体を盛り上げよう!</p>
	<p>各地で校区夏祭りが開催される中、大勢の支援者が参加。中央に並んだ1品持ち寄りの手作り料理が、暖かい市民の気持ちを表しているようです。</p>

子ども夏休み“夢プロジェクト”「がんばっぺ！B」活動内容



福祉作業所シエロさんのクッキー、特別支援学校に通うNちゃん手づくりのパン、詩人で身体障がい者「おかまさ」さんの詩集、支援者の木工細工など、たくさんのお土産をもらいました。

ボランティアさんとの別れに涙ぐむお母さんたち、もちろん、子どもたちも同じ気持ちです。



たった6名からスタートしたこのプロジェクト、最終的には100人に及ぶボランティアの参加がありました。日本初、そして日本唯一の「自閉症児夏休み疎開プロジェクト」は市民の力で大きな成果を残しました！

子ども夏休み“夢プロジェクト”「がんばっぺ！B」活動内容

8月7日(日) 最終日	活 動 内 容
	<p>きょうで、いよいよ山口ともお別れ。多くのボランティアが新山口駅まで見送りしました。</p> <p>ここからは、直接、自宅へ戻るご家族、千葉で疎開されるご家族、実家のある熊本へ行くご家族、東京ディズニーランドへ行くご家族等々、さまざまです。</p> <p>ディズニーランドへ行くご家族の理由は、直接福島へ帰ると、あまりにも宇部との落差があり過ぎるので、ワックション置くためだそうです。</p>
	<p>いつまでも見送る皆さん。</p> <p>また会える日を楽しみに！</p> <p>これで支援が終わるのではなく、宇部の会では、このご縁を大切に、今後も支援していくつもりです。</p> <p>この活動の様子は、8月9日の午後6時15分からのNHK総合テレビで放映されました。</p>